



天草八十八ヶ所 感謝の霊場巡り

天草で最も古いお寺は、染岳観音院（本渡町山口）で、天慶4年（941）弘法大師の法孫 妙覚法印により、真言宗寺院として創建されています。

弘法大師・空海は、真言宗の開祖ですが、天草では古くから真言宗だけでなく曹洞宗や浄土宗のお寺でも弘法大師が併祀されていて、宗派を問わない、いわゆる「皆の宗」で篤く信仰されてきました。



↑ 染岳大師堂の弘法大師座像

← 境内の弘法大師立像



鬼ノ城（御嶺）



天真寺（坂瀬川）



九品寺（大浦）



高野山教会（二江）



普門院子安弘法（下河内）



地藏院（阿村）



遍照院（大矢野）



円性寺（栖本）

弘法大師信仰は天草全島に及び、寺の境内や地域の大師堂には八十八の石仏が祀られ、家庭では天草土人形の弘法大師像が祀られるようになりました。

元文3年(1738)～昭和30年代まで続いた天草土人形(本町)は、部屋飾りの人形だけでなく弘法大師像や鈴木重成像が作られ、寛永年間から大正末期の最盛期には一日馬車6台を出荷したといわれ、天草一円の家々の仏壇に弘法大師像が見られるのも頷けます。



阿弥陀寺



金性寺 1



金性寺 2



金性寺 3



鬼ノ城 (御領)



寺ノ尾 (柵宇土)



東向寺 (本町)



国照寺 (志岐)



遍照院 (大矢野)



城山 (棚底)



慈眼庵 (樋合)



隣湯寺 (下田)



高野山宮田教会



高野山二江教会



芳證寺 (御領)



養老庵 (上津深江)



龍雲寺 (下浦)



九品寺 (大浦)



掛道大師



迦葉寺 (寺領)



成就院(大湊)



天真寺(天真寺)



地藏院(阿村)



松手大師(維和)

寺院の境内には、^{けいだい}四国八十八ヶ所霊場を模したミニ霊場が設置されていて、禅宗寺院では、慶安2年(1649)に国照寺(志岐)、文化8年(1811)阿弥陀寺(寺ノ尾)安政5年(1858)に金性寺(教良木)、明治22年(1889)に天真寺(坂瀬川)、その他、建立時期は不明ですが、観音院(染岳)・東明寺(手野)・燐峰寺(高浜)・江月院(大江)・宗心寺(楠浦)・功德庵(小島子)・正覚寺(上津浦)・地藏院(阿村)・遍照院(大矢野)・慈眼庵(樋合)などで祀られ、

浄土宗では、円性寺(栖本)・寿覚院(富岡)・九品寺(大浦)・量性寺(宮地岳)・西光庵(河浦)・東岸寺(御所浦)、真言宗では、高野寺(牛深)の境内で祀られています。

更に、大師堂の裏山などでもミニ霊場が併設され、小ヶ倉観音堂(栖本河内)・城山大師堂(棚底)・宮田大師堂・須子観音堂(有明)・下浦大師堂・夕浦大師堂(高浜)・今富大師堂(崎津)・一ノ瀬大師堂(新合)・中田大師堂・本郷大師堂(宮野河内)・茂串大師堂(牛深)などでも祀られています。



国照寺八十八ヶ所



阿弥陀寺八十八ヶ所



天真寺八十八ヶ所

昭和中期までは盛んであった「天草八十八ヶ所霊場巡り」は、時の流れと共に廃れた施設もあり、長い間途絶えていましたが、この程江戸時代の八十八ヶ所^{ちな}町村に因んで新たな霊場が加えられ、巡礼のルートも立派に整備されました。

真言宗の総本山東寺(京都)の公認を受けて「天草八十八ヶ所霊場巡り」が復興し、平成26年5月10日、松崎僧正を招聘して復興記念巡礼が行われ、約100名が参加しました。

四国八十八ヶ所のお遍路は、病気や悩み・苦しみから逃れるために仏様に救いを求めるための祈願の遍路^{きがんへんろ}です。

一方、「天草遍路」は、願い事だけでなく、私どもが日々つつがなく生かされていることに感謝して、仏様にお礼を申し上げる報恩感謝^{じゅんれい}の巡礼なのです。

1000年以上もの間、人々の心のよりどころとして脈々と受け継がれてきた民間信仰が、今また脚光を浴び、至る所で白装束の遍路姿が見られるようになりました。



天草八十八ヶ所霊場復興記念



天草八十八ヶ所霊場発足 (東寺松崎僧正と巡礼)



金性寺 (教良木)



普門院 (下河内)



御所浦



玉峰寺 (口之津) ご一行



東向寺 (本町)



玉峰寺ご一行成満



正覚寺ご一行



茂串大師堂



投げ筆不動岩 (樋ノ島)